

罪を犯した依存症者を支援する

クレプトマニアと 加害者家族支援

参加費
無料

「万引き再犯、治療優先—窃盗症など罰金判決徐々に」

万引きで有罪判決を受け、保護観察期間中に再び万引きをした被告に対し、クレプトマニア(窃盗症)等の精神疾患を理由に、裁判所が罰金刑を言い渡すケースが出始めている。背景には、社会内で更生させた方が再犯防止につながるという考え方があるが、治療施設の不足など体制整備が課題となっている(2017.5.31/読売新聞より)。

犯罪白書によると、2015年に万引きで検挙された63,972人のうち、窃盗の前科をもつ人は20.9%に上り、1995年の5%から大幅に上昇している。ただ、同じく治療が効果的とされる薬物事犯や性犯罪とは異なり、窃盗に特化した国の再犯防止プログラムはない。このような状況の中、当院ではいち早くクレプトマニア(窃盗症)専門外来を開設し「社会内で治療していく」という方針で再発防止効果を挙げている。

今回の講演会では、社会問題化しつつあるクレプトマニア(窃盗症)に巻き込まれる家族に焦点を当て、その実態と支援の方法について報告し、どのようなアプローチが有効かを当院の家族支援グループ(KFG)の実践を踏まえ講演したい。

そして、特別ゲスト(第1部)として『加害者家族支援の理論と実践(現代人文社)』の著者で、日本で初めて体系的な加害者家族支援を実践し全国でご活躍中のNPO法人ワールドオープンハート理事長の阿部恭子さんをお招きして加害者家族支援の視点から見た万引き問題についてお話を伺いたい。

日 時

H29年10月19日(木)

13:30-16:00

定員先着120名様

会 場 大森榎本クリニック6階
(東京都大田区大森北1-13-6)

第1部 13:30-14:30

- ・テーマ:『加害者家族支援からみた万引き問題』
- ・講師: 阿部 恭子
(NPO法人ワールドオープンハート 理事長)

第2部 14:40-15:30

- ・テーマ:『クレプトマニアとその家族支援』
- ・講師: 斉藤 章佳
(大森榎本クリニック 精神保健福祉部長)

お問い合わせは、電話またはメールで、
大森榎本クリニック(担当:久保田)

TEL: 03-5753-3361

MAIL: info@ohmori-enomoto-clinic.jp

「大森榎本クリニック 講演会」

テーマ: 罪を犯した依存症者を支援する⑤
「クレプトマニアと加害者家族支援」

(ご回答用)

日程: 平成29年10月19日(木)

時間: 13:30~16:00 / 会場: 大森榎本クリニック6階

参加対象者: この問題に関わっている家族や関係者の方々

お手数ですが、どちらかに○をつけてご返信ください。

☆講演会に参加(する・しない)

→参加する場合、何名でいらっしゃいますか? 複数名でも参加可能()名

貴団体名	
参加希望者名 (フルネーム)	
ご連絡先	(〒) 住所:
	電話:
	メールアドレス: @ (今後、講演会のご案内をさせていただきますのでご記入ください)

※平成29年10月16日(月)までにFAXまたはメールでご回答願います(先着順)

FAX: 03-5753-3360

メール: info@ohmori-enomoto-clinic.jp

講演会担当: 久保

痴漢は、依存症です。

痴漢の多くは、勃起していない

痴漢の多くは、よき家庭人である

加害者を見つめ続ける性犯罪・依存症の専門家が、
社会で大きく誤解されている「痴漢の実態」を解明し、その撲滅を目指す！



斉藤章佳

精神保健福祉士・社会福祉士

男が痴漢になる理由

2017年8月16日 発売



本書は
日本初の
「痴漢の実態」
を明らかにした
本です。

四六判ソフトカバー / 280ページ
定価(本体1400円+税) / イースト・プレス

斉藤章佳 プロフィール

精神保健福祉士・社会福祉士 / 大森榎本クリニック精神保健福祉部長。1979年生まれ。大学卒業後、アジア最大規模といわれる依存症施設である榎本クリニックにソーシャルワーカーとして、アルコール依存症を中心にギャンブル・薬物・摂食障害・性犯罪・虐待・DV・クレプトマニアなどさまざまなアディクション問題に携わる。その後、2016年から現職。専門は加害者臨床で「性犯罪者の地域トリアートメント」に関する実践・研究・啓発活動を行っている。また、大学や専門学校では早期の依存症教育にも積極的に取り組んでおり、講演も含めその活動は幅広く、マスコミでもたびたび取り上げられている。著者に「性依存症の治療」、「性依存症のリアル」(ともに金剛出版 / 共著)がある。その他、論文多数。

これらの「痴漢像」、
すべて誤解です！

痴漢は女性に相手にされない、
さみしい男である

性欲をコントロールできないから、
痴漢に走る

肌を露出した女性は、痴漢に狙われやすい

電車内に防犯カメラを搭載すれば、
痴漢は減る

痴漢よりも、冤罪事件が問題だ

実態を見誤っているうちは、
痴漢は減らない！



～繰り返す窃盗の問題でお困りの家族(関係者)の方へ～

Kleptomania Family Group-meeting

家族のためのクレプトマニア・ファミリー・グループミーティング(通称:KFG)

「逮捕されても万引きを繰り返してしまう」

「お金を持っているのに万引きしてしまう」

それはもしかしたら窃盗症(以下クレプトマニア)という病気かもしれません。世の中には、何度警察に逮捕されても万引きがやめられない人がいます。実は、この問題は刑罰を与えてもやめられません。

当院では、クレプトマニアの問題を持った本人へのかかわりに悩んでいる家族の相談と家族支援グループを開催しています。度重なる問題行動に家族は疲弊し、警察対応や裁判などの慣れない刑事手続きに振り回され、受診を本人にすすめても拒否される、そんな苦しい体験を家族は何度となく経験します。家族自身が「クレプトマニア」という病気に巻き込まれ、精神的に追い込まれて心身の調子を崩してしまいます。この問題は時間がかかりますが回復が可能な病気です。一人で抱え込まず、ぜひ当院にご相談ください(詳細は下記)。

☆ 日時:毎月第二・第四月曜日/16:30~18:00

☆ 場所:大森榎本クリニック6階(祝日は家族支援グループはお休みです)

☆ 費用:2,000円(一階受付でお支払いください)

☆ ご不明な点はスタッフまでお問い合わせください。担当:斉藤(Tel:03-5753-3361)